

別紙1 (回答主体：機構本部、別紙2のみ各病院)

令和5年度 or 第3期 見込評価	【今後取り組むべき課題】等	課題を踏まえ、確認したい点	質問に対する回答及び 関連する考察
5年度	大項目4 今後の経営状況と医療提供を考慮した適切な設備投資の規模・水準について、令和6年度から開始している機構未来プロジェクトにて検討されたい。	人的・物的な投資額について、資金収支の改善に資する、収入額に連動した <u>指標</u> の検討状況	各病院等の資金収支について、毎月の月次決算報告会にて情報共有を受け、共同で分析を実施。その結果を定期的に評価し、資金収支改善に向けた取組に活用している。
		今年度開始された投資2段階審査プロセスにおける <u>採算性の定量的分析手法</u> (例：収益予想に基づいた割引現在価値法)	投資にあたり、2段階審査プロセスに加え、医療機器購入にあたっては、令和7年8月にベンチマークシステムを導入し、適正な購入価格の把握と価格交渉を有利に進める体制を整備する。
		(以下、機構未来プロジェクト関連) <u>収益・費用の分析</u> 状況	
		<u>部門別原価計算</u> による採算性の <u>分析状況</u>	部門別原価計算による採算性の分析については、活用方法等について今後検討していく。
		<u>委託期間満了後も</u> 法人内で継続的に仕組みやシステムを活用できるような整備に係る状況	コンサルタント等による委託支援の期間満了後も、機構内で当該仕組みやシステムを自律的に運用・活用していけるよう、体制整備と定着化に向けた取組みを段階的に進めたい。

5 年度	大項目 4 設備投資については将来の償還額や資金残高とのバランスが必須であることから、機構本部と各病院との間で投資・財政計画等を共有、運用されたい。	機構本部と各病院との間での投資・財政計画等の共有、運用状況	設備投資に関しては、個々の機器の更新予定や全体の投資額を俯瞰的に管理するための設備マスタープランの策定を進める。
		<u>各病院の医業収益増・医業費用減、投資のコスト回収状況等を評価する仕組み</u> の検討状況	
令和 5 年度 or 第 3 期 見込	【今後取り組むべき課題】等	課題を踏まえ、確認したい点	質問に対する回答・考察 及び今後の取組
第 3 期見 込	大項目 2 ➤ 目標達成に向けた業務を効率的に運営するための内部統制システムの構築と本部機能の強化に取り組まれない。 ➤ 管理会計ツールによる本部と各病院の連携や経営管理を強化・促進するなど、業務改善に継続して取り組む体制を構築されたい。	(第 4 期中期計画の第 3 の内容も踏まえて) 本部機能の強化に資する、 <u>定量的判断基準により 経営改善策を講じることのできるような仕組み</u> づくりの検討内容 (今後検討予定のものも含む)	各病院の取組を効率的・効果的に支える組織体を目指すべく、機構未来プロジェクトの取組として、各病院と本部のガバナンス・マネジメントのあり方について検討を始めた。